

滋賀県生きものデータバンク研究会

～琵琶湖における寄生生物の分類と最新情報～

趣旨

第7期中期計画「調査解析1 琵琶湖沿岸の自然再生と生態系の現状評価」では、生物多様性の現状を科学的に評価するため、滋賀県生きものデータバンクの拡充およびデータ解析を進めている。その取りまとめにあたり、琵琶湖に生息する約3,500種の生物のうち、のべ240種以上にのぼる寄生生物に関する情報は、その重要性は認識されていたものの、琵琶湖を研究対象とする水生動植物の専門家の間でもほとんど共有されてこなかったことが、残された課題の一つとなっている。その理由として、寄生生物は、水鳥類や琵琶湖のアユをはじめとする魚類や貝類などに寄生し、生活史の中で、これら複数の宿主の間を自らの形態そのものを変化させて渡り歩くため、種の同定すら困難な状況があったためである。

そこで、その分類学的整理と最新情報について、琵琶湖の寄生生物研究に長年携わり、当センターの「琵琶湖生物多様性画像データベース」にもご執筆いただいている広島大学名誉教授・長澤和也先生、滋賀県立大学環境科学部教授・浦部美佐子先生、さらに書籍 Lake Biwa (Springer)の編集者の一人として琵琶湖の全生物リストを編集された元びわこ成蹊スポーツ大学教授・西野麻知子先生をお招きし、寄生生物に関する最新知見の理解と整理を行う研究会を開催することとした。

また、琵琶湖周辺の研究者や一般の関心を有する方々との意見交換を通じて、寄生生物のようにこれまであまり知られてこなかった生物についても、県民が理解を深められるよう、今後の課題を整理することを目的とする。

滋賀県生きものデータバンク研究会 開催のご案内

～琵琶湖における寄生生物の分類と最新情報～

開催案内

琵琶湖に生息する多様な生物のうち、これまで十分に注目されてこなかった寄生生物について、最新の分類体系や分布情報、寄生生物相の整理を進めることは、生物多様性の理解や今後の生態系モニタリングの高度化に不可欠です。

このたび、寄生生物研究の第一線で活躍されている専門家をお招きし、最新知見の共有と今後の課題整理を行うため、下記のとおり「滋賀県生きものデータバンク研究会」を開催いたします。関心をお持ちの方の参加をお待ちしています。

■ 日時

2026年3月30日（月） 13:00～15:00

■ 場所

琵琶湖環境科学研究センター 2階 大会議室

■ 内容（予定）

1. 「琵琶湖水系に生息する寄生生物の概要と最新知見」
講師：滋賀県立大学 環境科学部 教授 浦部 美佐子 氏
2. 「琵琶湖とその周辺水域におけるエラオ類2種、チョウとチョウモドキの分布特性」
講師：広島大学 名誉教授 長澤 和也 氏
3. コメント
元びわこ成蹊スポーツ大学 西野 麻知子 氏
4. 質疑応答・意見交換

■ 対象

琵琶湖周辺の研究者、生態系保全に関心のある方 など

■ 申込方法

参加を希望される方の氏名・所属を下記までお知らせください（締切：3月29日）。

■ 事務局・連絡先

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター

担当：石川可奈子

TEL：077-526-4800 Email：ishikawa-k@lberi.jp